

平成30年度 第1回 温海地域振興懇談会

次 第

日 時 平成30年5月30日(水)
午前10時～
場 所 温海庁舎 6階大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報 告

(1) 平成30年度温海地域主要事業及び地域まちづくり未来事業について

資料No. 1、2

(2) 鶴岡市第2次総合計画並びに温海地域振興計画、温海地域まちづくり
未来事業計画の策定について

資料No. 3

4. 協 議

(1) 温海地域振興計画の実施状況について

資料No. 4、5

(2) これからの10年で温海地域の活性化に重視したい着眼点について

資料No. 6

(3) その他

5. 閉 会

温海地域振興懇談会委員名簿

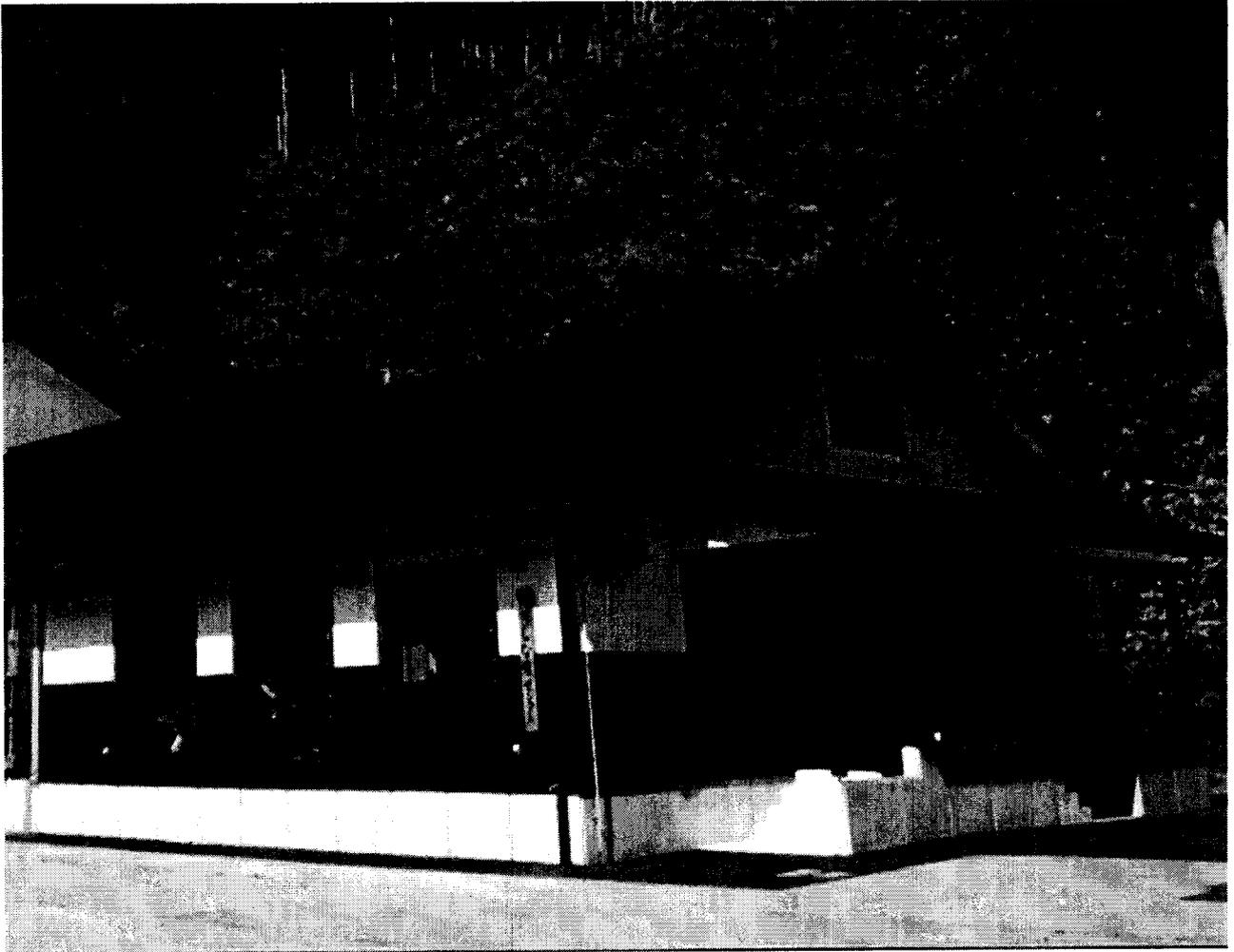
任期：平成29年6月1日～平成31年3月31日

役職名等	氏名	備考
会 長	忠 鉢 孝 喜	
副 会 長	佐 藤 満 也	
委 員	本 間 文 夫	
委 員	菅 原 久 継	
委 員	佐 藤 清 八 郎	
委 員	若 松 邦 彦	
委 員	本 間 岩	
委 員	佐 々 木 眞 人	
委 員	遠 藤 正 司	
委 員	佐 藤 美 代 子	
委 員	齋 藤 武 大	
委 員	高 橋 清	
委 員	五 十 嵐 伊 都 夫	
委 員	五 十 嵐 正 直	
委 員	本 間 加 知 子	

【市関係者】

所 属	職 名	氏 名	備 考
温海庁舎	支 所 長	渡 会 悟	
温海庁舎 総務企画課	課 長	粕 谷 一 郎	
温海庁舎 市民福祉課	課 長	佐 藤 美 香	
温海庁舎 産業建設課	課 長	百 瀬 政 行	
温海庁舎 総務企画課	総務地域振興主査	庄 司 益 美	
温海庁舎 総務企画課	地域まちづくり企画調整主査	伊 藤 隆	

平成30年度主要事業の概要



平成29年8月完成 関川しな織センター

平成30年4月
鶴岡市温海庁舎

平成30年度主要事業の概要

温海庁舎 (単位:千円)

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
1	鶴岡まちづくり塾活動支援 鶴岡まちづくり塾活動支援補助金 (継続)	事業実施 団体	若者の英知を市政に生かすことを目的に、地域ごとにグループワークを行う。 ・昨年度に計画した活動を実践に移すとともに、市総合計画策定への提言を行う。	2,400 (市全体)	総務企画課 (政策企画課)
2	交通輸送対策 生活交通バス維持費補助金 (継続)	市 事業実施 団体	廃止路線代替バスへの運行補助を行い地域住民の日常生活の交通の便を確保する。 また、地域公共交通網形成計画に基づく新たな地域内交通システムの検討を行う。	41,086 (市全体)	総務企画課 (地域振興課)
3	交通輸送対策 【新規】 高齢者等外出支援事業補助金	市	平成30年4月1日より、70歳以上の方と運転免許自主返納者が安心して外出できるようにバス定期券購入への補助を行う。	24,000 (市全体)	総務企画課 (地域振興課)
4	少子高齢化対策 婚活支援事業 (継続)	市 事業実施 団体	少子化の一因になっている未婚化・晩婚化について、地域の実態を把握するとともに、企業や団体、地域と連携して結婚に向けた環境づくりを推進する。 また、コンシェルジュの養成、増員を行う。	4,080 (市全体)	総務企画課 (地域振興課)
5	地域振興、活性化 地域振興懇談会 (継続)	市	設置4年目、委員数は15名、うち公募委員4名、年6回開催予定。まちづくり未来基金の活用についての協議、地域振興計画、予算、主要事業、総合計画等について意見聴取を行う。	2,660 (市全体)	総務企画課 (地域振興課)
6	地域の活性化 【新規】 【まちづくり未来基金事業】 都市農山村交流拠点施設整備補助金	市	「小国ふる里ふれあい村」の宿泊施設「楯山荘」の利用者の安全確保並びに都市農村交流事業発展のため、修繕工事に対して補助をする。	1,200	総務企画課

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
7	過疎対策の推進 地域おこし協力隊導入事業 (継続)	市	福栄地域の活性化と振興を図るため、都市部の意欲ある若者3名を受け入れ、人的、物的地域資源を有効に活用し、地域と一緒に地域づくり活動に取り組み、地域力の維持強化を図るとともに、退任する2名の定住に向け支援する。	12,000 (市全体)	総務企画課 (地域振興課)
8	地域コミュニティの活性化 集落活性化懇談会開催事業 (継続)	市	職員の地区担当制による集落活性化懇談会を開催し、地域課題の掘り起こしや解決に向けた取り組みを行う。 (住民自治組織ステップアップ補助金等)	4,907 (市全体)	総務企画課 (コミュニティ推進課)
9	交通安全の推進 【新規】 ・運転経歴証明書交付手数料支援 ・お試し乗車券の発行	市	平成30年4月1日より、運転免許証を自主返納する高齢者に対する支援を行う。 (申請窓口は防災安全課のみ)	4,070 (市全体)	総務企画課 (防災安全課)
10	地域振興、自治会運営の健全化 住民自治組織総合交付金等 (継続)	市	平成26年度から全市統一基準とした総合交付金を自治会に交付し、行政事務の円滑化及び集落の振興並びに運営の健全化を図る。	123,803 (市全体)	総務企画課 (コミュニティ推進課)
11	防災行政無線の更新 【新規】 移動系防災行政無線デジタル化更新工事	市	これまでの情報伝達手段を維持し、デジタル化等による無線機器の更新を行う。	122,557 (市全体)	総務企画課 (防災安全課)
12	災害に強いまちづくりの推進 海岸地域避難路整備連携事業補助金 (継続)	市	海岸地域の自主防災組織が行う避難路整備を支援し、津波災害対策の強化を図る。	3,000 (市全体)	総務企画課 (防災安全課)
13	温海ふれあいセンター管理運営 温海ふれあいセンター指定管理業務委託料 (継続)	市	温海ふれあいセンターの維持管理・貸館業務・生涯学習事業等を温海生涯学習振興会を指定管理者とし業務委託を行う。 (期間：H28.4.1～H31.3.31)	23,664	総務企画課

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
14	生涯学習振興 公民館類似施設運営・活動費補助金 (継続)	市 事業実施 団体	温海地域の自治公民館における 公民館運営活動に対する支援。 ・温海地域27自治公民館 9,396千円	12,096 (市全体)	総務企画課 (コミュニ ティ推進 課)
15	生涯学習振興 第33回温海さくらマラソン大会 への補助金 (継続)	事業実施 団体	さくらマラソン大会 4月22日(日) 温海温泉を中心としたコース 約1,700人 参加予定	665	総務企画課
16	公民館類似施設維持管理 公民館類似施設整備補助金 (継続)	市 事業実施 団体	自治公民館の新築・改築及び施 設の増築・改修・修繕に対する 支援。	2,736	総務企画課
17	公民館類似施設維持管理 【新規】 温海地域施設整備特別補助金	市 事業実施 団体	山五十川古典芸能收藏館の修繕 及び設計監理。	3,400	総務企画課
18	障害者の社会参加促進 重度心身障害(児)者社会参加 促進事業 (継続)	市	障害者の社会参加を進めるた め、下記の対象者にタクシー券 (@500円×36枚)、又はガソ リン券(@500円×18枚)を交 付し、利用料金等の一部を助成 する。 ※対象者:身障1級~3級、療育 A、精障1級の手帳保持者	31,042 (市全体)	市民福祉課 (福祉課)
19	一人暮らし高齢者等の支援 高齢者施設運営事業(高齢者生 活福祉センター運営業務委託 料) (継続)	市 事業実施 団体	在宅での生活に支障がある高齢 者に、一定期間住居を提供し、 各種相談、助言及び緊急時の対 応を行う。 (温寿荘内生活支援ハウス)	3,607	市民福祉課
20	放課後児童対策 放課後児童対策事業 (継続)	市 事業実施 団体	保護者が就労等により留守にな る小学生を対象とした放課後児 童クラブの運営を支援し児童の 健全育成を図る。 (あつみ保育園に併設するあつ みっこクラブ) ※利用料月額6,500円(長期休 暇、2人目以降等加算有)	310,004 (市全体)	市民福祉課 (子育て推 進課)

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
21	子育て支援 民間保育所等への各種補助事業 (温海地域保育所通園費補助金) (継続)	事業実施 団体	保育園の統廃合に伴う保護者負担軽減のため、あつみ福祉会が行う保育園通園事業に対して経費の一部を補助する。	15,825	市民福祉課
22	生活習慣病対策 健康診査事業 (継続)	市	がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康保持に役立たせる。	213,258 (市全体)	市民福祉課 (健康課)
23	公衆衛生の向上 【新規】 【まちづくり未来基金事業】 公衆便所維持管理事業(公衆便所改修工事費)	市	利用者の利便性の向上のため、老朽化した温海公園の公衆便所の改修を行う。 ※工事内容：便器の洋式化、小 便器節水化、照明器具のLED化等	1,000	市民福祉課
24	生活環境の保全 塵芥収集事業	市	地域内の各家庭より排出される家庭ごみ(一般廃棄物)の収集運搬業務を委託する。	355,167 (市全体)	市民福祉課 (廃棄物対策課)
25	介護予防の推進 【新規】 地域介護予防活動支援事業(地域介護予防活動支援事業補助金)	市 事業実施 団体	公民館等の施設を活用し、体操等の介護予防活動を主体的・継続的に実施する団体に補助金を交付し、高齢者の健康の維持増進を目指す。 補助要件：月2回以上の活動、年4回外部の専門職から指導受ける等	3,700 (市全体)	市民福祉課 (長寿介護課)
26	介護予防の推進 【新規】 地域介護予防活動支援事業(温海地域高齢者交流活動支援事業補助金)	市 事業実施 団体	温海地域では全市統一した「鶴岡市地域介護予防活動支援事業」に、段階的に移行を図れるよう、補助要件の一部を緩和し、高齢者の交流活動の支援を行う。	425	市民福祉課
27	あつみ温泉の賑わいづくり 【新規】 【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 温泉街景観づくり事業	市	温泉街の老木化している桜並木の植替えにより、景観の維持を図る。 (事業期間：H30～H33(予定))	4,400	産業建設課

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
28	<p>温海地域の交流人口の拡大</p> <p>【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 あつみ体験旅行推進事業 (継続)</p>	事業実施団体	<p>NPO法人の活動を支援しながら、官民一体となった取組みを展開し、教育旅行の受入や体験交流事業の拡大による交流人口の拡大を図る。 (支援期間：H27～H32(予定))</p>	2,900	産業建設課
29	<p>あつみ温泉の賑わいづくり</p> <p>【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 温泉街賑わいづくり促進事業 (継続)</p>	事業実施団体	<p>朝市広場を有効活用した取組み(朝市広場DEひるいち)などを支援し、温泉街の賑わいづくりを図る。 (支援期間：H29～H31(予定))</p>	100	産業建設課
30	<p>農山村集落の地域活性化</p> <p>【新規】 【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 関川地域活性化イベント支援事業</p>	事業実施団体	<p>関川地区活性化計画の目標指標の達成のため、しな織と食文化を融合した新たなイベントの開催を支援し、関川地域の活性化を図る。 (支援期間：H30～H32(予定))</p>	300	産業建設課
31	<p>農業振興、地産地消の推進</p> <p>【新規】 【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 小ロット農産物集荷システム整備事業</p>	事業実施団体	<p>しゃりんの農産物集荷体制を整備し、小ロット農産物生産者の所得の向上や産直コーナーの充実を図る。 (支援期間：H30～H32(予定))</p>	190	産業建設課
32	<p>農業振興、農山村集落の地域活性化</p> <p>【新規】 【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 温海地域在来作物振興事業</p>	事業実施団体	<p>そば文化継承のための講習会の開催や「越沢三角そば」のPRの強化を図り、打ち手の育成や販売の促進を目指す。 (支援期間：H30～H33(予定))</p>	50	産業建設課
33	<p>あつみ温泉の賑わいづくり</p> <p>【まちづくり未来基金事業】 地域活性化事業 あつみ温泉集客イベント実施事業 (継続)</p>	事業実施団体	<p>能や地域の伝統芸能などを活用した「せせらぎの能」を中心としたイベントの開催を支援し、温泉旅館への集客やあつみ温泉の知名度のアップを図るほか、日中の賑わいづくりによる飲食店、商店などへの誘客促進を図る。 (支援期間：H22～H31(予定))</p>	1,900	産業建設課
34	<p>農業振興</p> <p>経営所得安定対策推進事業 (継続)</p>	事業実施者	<p>水田において地域の特色ある魅力的な産品の産地を創造するための取組に対して交付金を交付し、米価の安定と転作作物の産地化を図る。 ・直接支払推進事業費補助金</p>	15,050 (市全体)	産業建設課 (農政課)

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
35	農業振興 環境保全型農業直接支援事業 (継続)	事業実施者	有機、特別栽培を基本とし、さらに環境に配慮した農業を实践するグループに対して10aあたり一定額を交付し、環境の保全に努める。 ・環境保全型農業直接支払交付金	106,871 (市全体)	産業建設課 (農政課)
36	中山間地農業の維持 中山間地域等直接支払交付金事業 (継続)	事業実施団体	中山間地域における営農活動の条件不利を補正するため、第4期対策に取り組む協定集落に交付金を交付し、中山間地の農業を維持する。 ・15集落(14協定)で取組 第4期対策(H27~H31)	253,664 (市全体) 49,352 (温海分)	産業建設課 (農山漁村振興課)
37	中山間地農業の維持 中山間地域等持続的農地保全支援事業 (継続)	事業実施団体	国の中山間地域等直接支払制度に取り組んでいない地域において、共同活動による農業生産の維持を通じて多面的機能を確保するための活動に対して支援し、中山間地の農業を維持する。 ・1集落で取組(小名部) (H28~H30)	1,435	産業建設課
38	中山間地農業の維持 有害鳥獣による農作物被害防止対策事業 (継続)	市 事業実施団体	爆音機等の追い払い用機材の購入費や狩猟免許取得に係る経費の一部補助、サルの生息域状況調査や有害鳥獣の捕獲や追い払いを行い、有害鳥獣による農作物被害を防止する。	17,097 (市全体)	産業建設課 (農政課)
39	森林の維持と焼畑農業の継承 【まちづくり未来基金事業】 中山間集落モデル農林業実践事業 (継続)	事業実施団体	温海町森林組合が取り組む、温海地域における皆伐跡地での焼畑振興と再造林を支援し、森林の循環システムの構築を目指す。 (計画期間:H27~H32(予定))	4,785	産業建設課
40	中山間地農業の維持 多面的機能支払活動支援事業 (継続)	事業実施団体	地域全体で農地・農業用水路等の保全管理を行う体制を整備する共同活動と、土地改良施設の長寿命化を図るための向上活動に対し、交付金を交付し、中山間地の農業を維持する。 ・13集落で取組	947,984 (市全体) 20,172 (温海分)	産業建設課 (農山漁村振興課)
41	地籍の明確化 温海地区地籍調査事業 (継続)	市	菅野代地区(沢口・川内 調査面積0.09km ²)の地籍簿及び地籍図の作成により地籍の明確化を図る。 (S60~H30)	709	産業建設課

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
42	林業振興施設の維持管理 林業振興施設管理事業 (継続)	市	温海温泉林業センターの適正な維持管理により、利用者の利便性の向上を図る。 指定管理団体：温海温泉自治会	5,980	産業建設課
43	林道の維持管理 林道維持管理事業 (継続)	市	路面が著しく損傷している林道（八方峰線）の修繕及び路面補修用の原材料を管理団体等に支給し、林道の維持管理に努める。	2,035	産業建設課
44	森林整備の推進 間伐実施推進事業 (継続)	事業実施団体	集約化施業が困難な森林に対する間伐施業を支援し、森林整備の推進を図る。	17,543	産業建設課
45	森林整備の推進 森林整備支援事業 (継続)	事業実施団体	森林の集約化施業の推進活動や民有林の境界明確化事業に対して支援し、森林整備の推進を図る。	2,639	産業建設課
46	森林景観の改善 森林病虫害等防除事業 (継続)	市	松くい虫被害木の伐倒駆除と松くい虫被害から守るための防除（薬剤の葉面散布による防除）を行い、森林景観の維持・改善を図る。	923	産業建設課
47	森林体験学習の推進 森林環境教育推進事業 (継続)	市	小学生から一般参加者、漁業者などが参加し、森づくり活動や森林学習活動等を行い、森林の大切さを伝える。 ・天魄山森林自然教室 ・鼠ヶ関小学校森林環境教室 ・サラリーマン林太郎 ・ねずがせき魚の森づくり活動	1,063	産業建設課
48	特用林産の振興と中山間地域の活性化 作業道開設事業 (継続)	事業実施団体	JA庄内たがわ温海支所（園芸振興部会）が早田地内に小規模作業道を開設するため、その事業を支援し、早田孟宗の生産振興を図る。	1,012	産業建設課

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
49	森林整備の推進 林道念珠関線開設事業 (継続)	市	山形県の代行事業として、楨代と早田を連結する新たな林道を開設し、森林整備の推進を図る。市は、事業の進捗に応じて用地取得の丈量測量と用地事務を行う。 (計画期間：H28～H37)	17,578	産業建設課
50	港内の静穏度の向上 大岩川漁港防波堤改良事業 (継続)	市	老朽化した大岩川漁港の防波堤改良工事を行うことで、漁港内の静穏度を向上させ出漁時の安全性の向上と出漁回数の増加を図る。 (計画期間：H27～H30)	63,358	農山漁村振興課
51	産業振興 伝統的工芸品振興事業 (継続)	事業実施団体	国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の後継者の育成、需要の拡大等に資する取組みを支援し、伝統技術の継承や販売額の拡大による、しな織の振興を図る。	350	産業建設課
52	観光振興 あつみ観光協会振興事業 (継続)	事業実施団体	あつみ観光協会の運営及び協会が行う観光宣伝、誘客等の各種事業を支援し、温海地域の観光振興を図る。	3,877	産業建設課
53	観光振興 にぎわいのある温泉街創出事業 (継続)	事業実施団体	温海旬御膳など、あつみ温泉街で展開される着地型観光事業を支援し、温泉街の賑わい創出と観光誘客を促進する。	575	産業建設課
54	観光振興 【新規】 【まちづくり未来基金事業】 あつみ温泉街賑わいづくり拠点施設整備事業	事業実施団体	足湯カフェ「チットモッシェ」の根幹部分(屋根、外壁等)の修繕に対して支援し、温泉街の賑わいづくりの拠点となる施設の維持に努める。	10,000	産業建設課
55	観光振興 海水浴場事故防止対策事業 (継続)	事業実施団体	マリンパークねずがせき海水浴場の安全確保及び危険防止を図るための対策を支援する。	716	産業建設課

NO	事業目的	事業主 業体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
56	観光施設の維持管理 【新規】 【まちづくり未来基金事業】 観光地美化整備事業	市	観光施設の修繕により、施設の維持に努め、誘客を促進する。 ・念珠の松庭園類杖支柱修繕 ・木野俣地内観光案内標識修繕	340	産業建設課
57	地域振興、活性化 日沿道新潟県境区間 I C 周辺休憩施設整備事業（継続）	市	温海地域が単なる通過点とならないよう、地域活性化のツールとして地域経済の活性化や雇用の創出、交流人口の拡大が図られるよう整備する。 ・現況測量 ・用地測量 ・造成基本設計 ・運営計画検討業務	29,548	都市計画課
58	温泉街の景観の向上 【新規】 【まちづくり未来基金事業】 道路維持事業	市	温泉街の景観を維持し、来訪者の満足度の向上を図る。 ・庚申堂湯見ヶ代線 (かじか通り休憩施設修繕)	1,000	産業建設課
59	道路の維持管理及び生活環境の向上 交通安全施設整備事業 (継続)	市	交通安全施設を整備し、通行する車及び人の安全を確保する。 ・鼠ヶ関駅裏通線 (ガードパイプ更新) ・温海22号線 (ガードレール更新)	2,131	産業建設課
60	道路の維持管理及び生活環境の向上 道路新設改良事業 (継続)	市	市道の維持修繕により、通行する車及び人の安全を確保する。 ・温海22号線(駐輪場の撤去) ・早田9号線 (側溝・排水路整備) ・小名部小国線 (側溝・排水路整備)	5,850	産業建設課
61	橋梁の改良等による交通環境の向上 橋梁新設改良事業(交付金) (継続)	市	橋梁の改良等により、通行する車及び人の安全を確保する。 ・岩川橋(橋梁架替、用地買収、物件移転補償) ・向田橋(橋梁撤去)	82,740	産業建設課 (土木課)
62	道路の維持管理及び生活環境の向上 【新規・継続】 道路公共事業(過疎地域自立促進事業)	市	市道の維持修繕により、通行する車及び人の安全を確保する。 ・配水池通温海岳線道路改良 (継続) ・早田9号線道路施設改良 (新規)	83,720	産業建設課 (土木課)

NO	事業目的	事業主体	事業内容	事業費	担当課
	事業名				
63	景観整備及び賑わいづくり	市	旅館青年部が中心となって取り組む、あつみ温泉の賑わいづくりの活動に対し、アドバイザーからの指導・助言の機会を設け、効果的な取組みとなるよう支援する。	265	産業建設課
	温海地区まちづくり事業 (継続)				
64	公園管理	市	温泉街の観光スポットである「あつみ温泉バラ園」の適正な維持管理を図る。	1,914	産業建設課
	温海温泉バラ公園管理事業 (継続)				
65	公園整備	市	温海公園内の木柵及びベンチの修繕により、利用者の安全性・快適性の向上を図る。	690	産業建設課
	【新規】 【まちづくり未来基金事業】 温海公園修繕事業				
66	公園整備	市	温泉街の観光スポットである「あつみ温泉バラ園」を整備することで、子供から高齢者まで快適に散策できる環境整備を目指す。 ・温海公園測量設計業務	5,000	産業建設課
	【新規】 【まちづくり未来基金事業】 温海公園整備事業				
67	消防施設新営改良事業	市	消防施設の充実のため、山五十川貯水槽整備工事設計を行う。 (工事は平成31年度の予定)	790	消防本部 警防課
	消防施設新営改良事業				

（単位：千円）

事業項目	事業費	事業内容	
まちづくり未来事業計画の策定	266	地域振興懇談会の開催	266
地域コミュニティ活動の強化と活動拠点の機能充実	5,400	公民館類似施設整備等	5,400
農林業の振興	5,055	焼畑温海かぶ栽培・再造林モデル事業	4,815
		小ロット農産物集荷システムの整備	190
		温海地域在来作物(越沢三角そば)の振興	50
観光の振興	17,740	あつみ温泉賑わいづくり拠点施設修繕	10,000
		あつみ温泉葉月橋通ベンチ修繕	1,000
		あつみ温泉集客イベント「せせらぎの能」の開催支援	1,900
		朝市広場を活用した賑わいづくり	100
		あつみ温泉街桜の植樹(更新)	4,400
		観光施設修繕	340
交流を核にした地域振興	4,400	あつみ体験旅行の推進	2,900
		関川地域活性化イベントの開催支援	300
		都市農山村交流拠点施設の修繕	1,200
都市公園の整備	6,690	温海公園木柵及びベンチ修繕	690
		温海公園のトイレ修繕	1,000
		ばら園改修に向けた測量設計	5,000
公用財産の環境整備	3,970	温海庁舎の修繕等	3,970
合計	43,521		

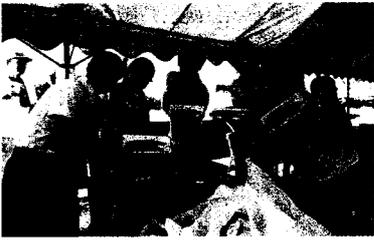
地域まちづくり未来事業

各地域がともに発展するまちへ

地域の個性を生かすまちづくり

〈藤島地域〉

- 首都圏大学・藤島地域農業農村交流事業



- 農業関連資源を生かした地域振興
- ふじの里づくりの推進
- 東田川文化記念館の照明のLED化等

4,990万円

〈櫛引地域〉

- 歴史・文化の里の推進



- フルーツの里づくりの推進
- 観光案内看板の設置
- 櫛引生涯学習センターの整備・充実等

5,589万円

〈温海地域〉

- 関川地域活性化イベント支援事業



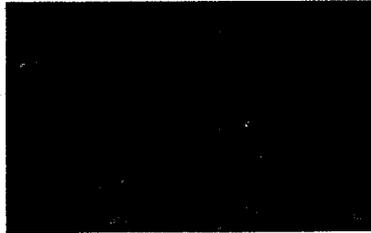
- 桜の植樹(更新)やバラ公園の改修等を通じたあつみ温泉の振興
- 体験旅行推進事業への支援など交流を核にした地域振興
- 地域コミュニティ活動の強化と活動拠点の機能充実等

4,352万円

合併の理念である「多様性の発揮」を継承し、全市域で地域の特性を生かしたまちづくりを活性化します。
それぞれの生活が守られ、明るい希望を持てる地域社会が実現できるよう、地域振興施策を展開します。
なお、鶴岡地域における事業の実施については30年度にその内容を検討します。

〈羽黒地域〉

- 月山高原エリア活性化事業



- 歴史的風致の維持向上
- 地域交通の充実
- 蝦夷館公園の整備等

3,495万円

〈朝日地域〉

- 食と六十里越街道トレッキング連携事業



- 自然などの地域資源を生かした観光誘客の促進
- 安心安全な登山を支援するデジタル簡易無線の導入
- 山の恵みを生かした複合農業の推進等

2,955万円

平成30年度に策定する計画

- ・鶴岡市第2次総合計画（10年間：平成31年度～40年度）
- ・地域振興計画（同上：5年毎見直し予定）
- ・地域まちづくり未来事業計画（3年間：平成31年度～33年度 以降ローリング）

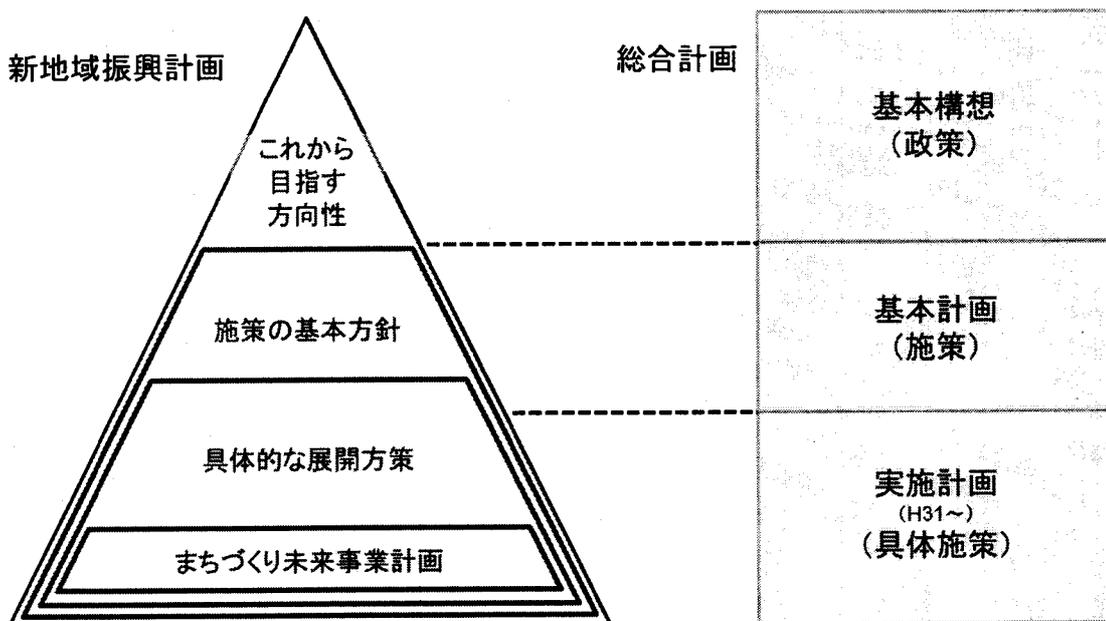
【地域まちづくり未来事業計画とは？】

- ・人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する「地域まちづくり事業」。
- ・平成31～33年度の3カ年で実施すべき主な事業を明示。
→地域庁舎の総力を発揮し、地域や若者の意見を聴取したうえで、「地域が元気を出せる事業」「人材づくり」「具体性」を重視。
- ・その事業の財源として、国や県の補助金等の他に「地域まちづくり未来基金」を充てる。

〈重視すべき視点〉

- ◎地域が主体的に活動できる事業
- ◎地域の特色を生かした独創的企画
- ◎実効性のある特定プロジェクト …etc.

鶴岡市総合計画・地域振興計画・未来事業計画 関係イメージ図(素案)



・「基本構想」において、鶴岡市としての地域振興の基本的な考え方と各地域の地域振興の方向性について記述
 ・「基本計画」において、各地域の施策の基本方針と具体的な方策について記述
 ・「実施計画」において、各地域の具体的な方策について記述
 ※新総合計画の体系については今後統一的に検討されるため、地域振興計画の位置づけも変わる場合があります。

計画策定フロー

【温海地域振興計画（H26～H30）の評価検証】

- 1 あつみ温泉の振興
- 2 海・水産業を活かした地域振興
- 3 交流を核にした地域振興

地域戦略会議（庁舎部課長会議）

指示・アドバイス・内容検討

庁舎内プロジェクト会議

- ・現状分析
- ・まちづくりの方向性、具体的展開策の議論と原案作成

意見交換
意見聴取

各団体等との意見交換…随時
（鶴岡まちづくり塾、集落懇談会等）

地域振興懇談会

（年4回程度開催予定）
5月、8月、9月、1月頃

意見交換
意見聴取

幅広に意見を聴取しつつ、「地域振興計画」とその実施計画と位置づける「地域まちづくり未来事業計画」の案をまとめる。

意見交換

温海地域振興計画（案）
温海地域まちづくり未来事業計画（案）

12月目途

地域まちづくり未来事業検討会議

（年2回程度開催予定）
※まちづくり未来事業候補について全体的な意見交換

鶴岡市第2次総合計画

◎基本構想

本誌の目指す都市像
まちづくりの基本方針

◎基本計画

基本構想に沿った施策の方向、主な施策

◎実施計画

具体的な取組み、事業

温海地域振興計画

◎これから目指す方向性
→施策の基本方針
→具体的な展開方策

温海地域まちづくり未来事業計画

◎実施計画

2月までまとめる

3月策定

H31 事業については、先行して予算要求

温海地域振興計画の実施状況

資料No. 4

具体的な展開方策	振興策	具体的な取り組みと成果	今後の取り組み
<p>①おもてなしの景観づくりの推進</p>	<p>(ア) クオリティの高いおもてなしの景観づくり</p> <p>(イ) 空き店舗を利用した出店支援</p> <p>(ウ) のれん、イーゼルを活用した賑わいづくり</p>	<p>まちづくりアドバイザーを招き、住民懇談会の開催による課題共有や庁舎プロジェクトチームによる、まちづくりマップづくりを進めたが、ハード面での整備には至らず、ソフト面での賑わいづくり事業を展開している。</p> <p>出羽商工会と連携し、利用可能な空き店舗の調査を行うとともに、平成24～26年度に改修費用の助成制度を整備し空き店舗の利用を促したが、利用希望者はなかった。</p> <p>平成25～27年度にのれんやイーゼルの設置を支援するとともに、ディスプレイ講習会や花鉢によるおもてなしを行い、温泉街の一体感を醸成した。</p> <p>また、平成26年度からはおもてなし祭りを開催するなど、日帰り入湯客数の増加や温泉街を散策する観光客が多く見られるようになった。</p>	<p>まちづくりアドバイザーの指導・助言を受け、旅館青年部によるまちづくりマップの作成と地域住民との方向性の共有を図るための活動を支援し、温泉街の賑わいづくりを進める。</p> <p>出店希望者に対しては出羽商工会と連携し支援を行うとともに、朝市広場の空き店舗利用について観光協会、産業団体と連携し出店者の誘致を図る。</p> <p>あつみ温泉の住民や旅館、商店など関係団体が行う自主的な環境整備を支援するとともに、まちづくりアドバイザーの指導・助言を受け、商店等のクオリティアップへの取り組みを進め、賑わいづくりを進める。</p>
<p>②温泉周辺の観光スポットの整備</p>	<p>(ア) 観光資源の魅力アップとあつみ温泉への誘客</p> <p>(イ) 歴史的、文化的資源を滞在型、体験型旅行に活用</p> <p>(ウ) 情報発信ツールの有効活用によるPR強化</p>	<p>平成21年～25年度に温海岳や天竜山のトレッキングコースの整備や休憩ベンチの設置を行った他、毎年環境整備を行うとともに、ホームページ等を活用した情報提供に努めているが、あつみ温泉への誘客に至っていない。</p> <p>平成21年～25年度に温海岳や天竜山のトレッキングコースの整備や休憩ベンチの設置を行った他、毎年環境整備を行うとともに、ホームページ等を活用した情報提供に努めているが、あつみ温泉への誘客に至っていない。</p> <p>ばら園の噴水・フェンスの改修、与謝野晶子歌碑の朝市広場移転の他、そぞろ歩きのモデルコースの設定などに取り組み、あつみ周辺ガイドマップやホームページ等情報発信ツールを使い情報発信に努め、観光客の利便性の向上に繋がっている。</p> <p>市のホームページや観光関係部署のウェブサイトで情報発信するとともに、イベントの告知は、TVなどのマスメディアを活用してPRを行うなど、観光資源やイベント情報を発信したことにより、日帰り観光客が増加傾向にある。</p>	<p>観光協会や関係団体と連携し、これらの観光資源を活かしながら、あつみの食もPRできるような鶴岡ツーリズムの確立に向けて、つるおおか農工商観光連携総合推進協議会の鶴岡ツーリズム部会で検討する誘客プランを構築する。</p> <p>引き続き環境整備に取り組み、情報発信に努める。</p> <p>SNSなどにも有効活用しながら、常に最新の観光情報をスピーディーに発信し、誘客につなげる。</p>

あつみ温泉の振興

具体的な展開方策	振興策	具体的な取り組みと成果	今後の取り組み
<p>あつみ温泉の振興</p> <p>③観光ガイドの育成と観光案内機能の強化</p>	<p>(ア) 観光協会を中心とした主体的かつ効果的な活動支援</p> <p>(イ) 人によるおもてなしの充実</p>	<p>ばら園まつり、温海旬御膳、摩耶山新酒まつりなど、あつみ観光協会等が行う観光資源を活用した着地型観光事業や、あつみ温泉の魅力づくりの推進、観光地としての環境及び受入れ体制整備に関する取り組みに対して支援し、観光客の増加に繋がっている。</p> <p>平成26年度に(財)地域活性化センターのアドバイザリー事業を活用して「あつみ温泉観光ボランティアガイド事業に対する実践アドバイス」を開催し、あつみ温泉で観光に携わる関係者の意識の向上を図ったが、観光ガイドの掘り起こしまでは至らず、観光客のニーズに応えられない状況である。</p>	<p>観光協会を中心として事業効果を検証しながら、より効果的な事業実施を支援する。</p> <p>観光協会やNPO法人と連携し、観光ボランティアガイドの養成に向けた検討を行うなど、観光客のニーズに応えられる体制の確立を目指す。</p>
<p>海・水産業を活かした地域振興</p> <p>①新鮮な魚介類のPRとブランド化の推進</p>	<p>(ア) 鼠ヶ関地区内に鮮魚提供施設整備の検討</p> <p>(イ) 漁業者自らのルール作りによるブランド化の推進</p> <p>(ウ) イベント開催による魚介類のPR強化</p>	<p>まちづくりアドバイザーを招き住民懇談会を開催するなどの取り組みを行ったが、具体的な取組に至っていない。</p> <p>漁業者自から「おぼこサワラ」のブランド化に向けて活動を始めた。また、昨年3月12日に初めて内陸に施設の一部を借りて漁協の直営店をオープンさせており、その売上げも順調である。</p> <p>従来から実施している「大漁旗フェスティバル」「うまイカ・干しイカ・イカまつり」に加え、28年度から新たに「おぼこサワラまつり」を開催し、鼠ヶ関地域の魚介類のPRを行った。事前PRの効果もあり、来客数の大幅な増となった。</p>	<p>鼠ヶ関IC(仮称)の整備計画の動向を注視し、鼠ヶ関地区内で鮮魚や加工に携わっている事業者の係り方について検討する。</p> <p>他地域との差別化できそうな分野の掘り起こしを行いながら、新たなブランド化について検討する。</p> <p>これまでの取り組みを継続する。</p>
<p>②水産加工品の研究開発</p>	<p>(ア) 鮮魚、地域の魚食文化のPR</p>	<p>鶴岡大産業まつりにおいて、市民に地元の魚介類の周知を図ってきた。</p> <p>また、山形県や県漁協が進めている「食文化創造都市推進」と連携しながら取り組んだ。</p> <p>海丸によるPR効果や山形県としての取り組みも加わり、山形市内を含めた内陸部での庄内浜の魚の関心が高まっている。</p>	<p>これまでの取り組みを継続する。</p>

具体的な展開方策	振興策	具体的な取り組みと成果	今後の取り組み
②水産加工品の研究開発	<p>(イ) 魚介類の付加価値を高め、漁業者の所得向上</p> <p>(ウ) 未利用魚等の潜在的資源などを利用した加工品開発支援</p>	<p>具体的な取組みに至っていない。</p> <p>庄内浜うめえ魚産地協議会の活動を通じて新たな加工品の開発などに取組んだ結果、乾燥紅えびや鮮魚の練り物が商品化された。</p>	<p>県漁協及び漁業者組織の主体的な取組みに対し支援を行う。</p> <p>これまでの取組みを継続する。</p>
③海洋レジャー基地としての環境整備	<p>(ア) 鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」による誘客施設設置の検討と人材発掘等の取組み支援</p> <p>(イ) 鼠ヶ関の歴史・文化にストーリー性を加えた、更なる誘客促進</p> <p>(ウ) 海を活用した体験メニューの構築、指導者養成などの取組み強化</p> <p>(エ) 農業・林業等との連携による温海地域体験プログラムの拠点整備</p>	<p>まちづくりアドバイザーを招き住民懇談会を開催するなどの取組みを行ったが、具体的な取組みに至っていない。</p> <p>平成29年度で13回目になる、あつみ観光協会鼠ヶ関支部主催による「義経上陸の地鼠ヶ関歩こう会」を実施している。</p> <p>また、蓬莱塾で鼠ヶ関地内の歴史、文化の掘り起こしをし、新たな観光メニュースhowerとして22年度から漁船クルージングを実施している。</p> <p>蓬莱塾や平成26年度に設立したNPO法人自然体験温海コーナーネットワークが主体となつて海を活用した体験メニューの開発や指導者養成、温海地域への教育旅行の誘致などに取組んできた。</p> <p>指導者養成としては、NEALリーダーの確保やスキルアップが図られた。</p> <p>地域協議会「蓬莱塾」「福の里」が連携して指導者養成と取組みや、各協議会が体験プログラムの開発を検討するなどの取組みを行ってきた。</p>	<p>既存事業所等の意向を尊重しながら今後の取組みに見合った支援を検討する。</p> <p>NPO法人自然体験あつみコーナーネットワークが中心としながら進める、新たな観光メニュースhowerの開発を支援する。</p> <p>NPO法人と連携しながらこれまでの取組みを引き続き支援する。</p> <p>NPO法人や福の里、小国ふる里振興会などと連携して温海地域全体の体験プログラムの構築を図る。</p>

海・水産業を活かした地域振興

具体的な展開方策	振興策	具体的な取り組みと成果	今後の取り組み
① インターチェンジ周辺の土地利用の推進	(ア) インターチェンジ周辺の有効活用と温泉街への誘導	平成26年度に市民等によるワークショップを開催し、その後、基本計画策定委員会の意見や道の駅専門家によるアドバイス等を踏まえ、平成29年5月に基本計画を策定した。	地元関係者の意見を聞く機会を設けながら、管理運営計画や運営体制の検討を進める。併せて、道の駅「あつみ」との機能のすみ分け、連携のあり方を検討する。 また、あつみ温泉ICから温泉街への誘導機能と温泉街の観光スポットへの案内強化、景観づくりを地域と連携して推進する。
② 温海地域全体をフィールドとした体験プログラムの開発と指導者養成	(ア) 教育旅行や体験型旅行の受入れ団体の連携を図るとともに、自主的活動体制の構築支援 (イ) 体験プログラムの開発や指導者養成などの環境整備の推進	鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」、福栄地域協議会「福の里」、小国ふる里振興会、NPO法人自然体験あつみコーデイネットの活動に対し、財政支援及び人的支援を行った。 平成27年度以降は、NPO法人が中心となり、各団体と連携を図りながら各種体験プログラムの開発や磨き上げを行った結果、鼠ヶ関集落、福栄地域、小国集落の活性化や、福の里においては若年層の活動への参加が徐々に増え、地域愛の醸成につながった。 NPO法人自然体験あつみコーデイネットが中心となり、体験プログラムの開発や磨き上げ、指導者養成・スキルアッププログラムを進めた。 モニターイベントの開催やインバウンド対応など、他地域からの認知度が増した。	NPO法人が活動の中心となり、他の団体と連携しながら進める。温海地域全体をフィールドとした受入れ体制の整備を支援する。 NPO法人が中心となり、他の団体と連携しながら進める。指導者の更なるスキルアップや体験プログラムの磨き上げによる、受入れ体制の整備を支援する。

交流を核にした地域振興

具体的な展開方策	振興策	具体的な取り組みと成果	今後の取り組み
<p>③体験型・滞在型旅行や教育旅行の誘致に向けた環境整備とPR</p> <p>交流を核にした地域振興</p>	<p>(ア) 各自治会や団体の独自開催イベントを有機的に結びつけ、体験プログラムの再構築</p>	<p>NPO法人自然体験あつみコミュニティネットが中心となり、各種既存イベントと連携してモニターイベントを開催するなど、体験プログラムの磨き上げを行った結果、既存イベントへの来訪者の増加など、相乗効果が見られた。</p> <p>また、NPO法人による教育旅行のプロモーション活動や体験型旅行の情報発信を行うことにより、県内の学校の教育旅行の受け入れや個人、団体、インバウンドなどの受け入れが増加傾向にある。</p>	<p>NPO法人が中心となり、他の団体と連携しながら進める、体験プログラムの磨き上げや受入れ体制の整備を支援する。</p>
	<p>(イ) 指導者の養成、確保など休日にとらわれない実施体制の整備</p>	<p>NPO法人自然体験あつみコミュニティネットが中心となり、福の里や蓬萊塾などの構成員を対象に指導者養成・スキルアップを行った。</p> <p>NPO法人が体験プログラムの実施にあたり、事前に指導者の確保、要請をすることができた。</p>	<p>NPO法人が中心となり、他の団体と連携しながら進める、指導者の養成・スキルアップを図るとともに、民泊の受入れ体制の整備を支援する。</p>
	<p>(ウ) 各団体が実施するイベントの継続に向けた取り組み支援</p>	<p>(さくらマラソン) 実行委員会が中心となって実施し、平成29年度で32回開催。県内外から約1,700人も人が参加する。大会を通してあつみ温泉街をはじめ、地域の活性化につなぐことができた。 (トライアスロン) 実行委員会が中心となって平成26年度まで計29回実施し、周辺地域の活性化を図った。 しかし、30回記念大会の事故から開催を見送っている。 (大漁旗フェスティバル) 運営をスチームーズに行うため、イベントの周知、諸手続等を支援した。 また、一般市民に広く周知することができ、大勢の人が来場した。</p>	<p>これらのイベントについて、これまでどおり、イベント継続に向けた取り組みを支援する。</p>

<p>具体的な展開方針</p>	<p>振興策</p>	<p>具体的な取り組みと成果</p>	<p>今後の取り組み</p>
<p>④地域内連携による地産地消の推進</p> <p>交流を核にした地域振興</p>	<p>(ア) 地産地消コーナーの養成、温海地域の食材や食文化を「あつみ温泉」の旅館に提供するシステム構築</p> <p>(イ) 温海地域の食材を活用した、新たな食文化の開発支援</p>	<p>地産地消コーナーの商品化に向けた研究を行ったが、商品化までには至っていない。また、新たにコーディネートする商品の養成は行っていない。</p> <p>鶴岡市街地での温海地域の小ロット農産物の販路拡大の強化、しやりんと首都圏の飲食店との取引、市内・地域内の保育園への温海地域の農産物の納入につながっている。</p> <p>温海地域と朝日地域で収穫される農産物(みょうろ、温海かぶなど)を使った地域農産物料理コンテストを開催し、応募作品のレシポを公表した。両地域の農産物の消費拡大を目指したが、継続的な取り組みには至らなかった。</p> <p>早田ウリ保存会、(株)あつみ農地保全組合への活動支援、平成28年度には焼畑あつみかぶに続く新たな地域特産品の候補を検討。</p> <p>早田ウリ保存会の自主的な取り組みにより、商品開発したアイスクリームをしやりんで販売した。</p> <p>(株)あつみ農地保全組合がオール温海産の豆腐と豆乳の商品開発を検討したが、加工施設の設備整備や価格設定などの課題が多く、商品化には至っていない。</p>	<p>J A庄内たがわ温海支所やしやりんの集荷システムの合理化により、新たな集荷システム構築を検討し、小ロット多品目でも出荷できる体制の整備を調査検討する。また、出口対策として地域内スーパーや朝市広場等での販売を検討し、小規模農家の生産意欲の維持と地産地消の推進を図る。</p> <p>複合経営としての園芸作物の選定や加工品の開発等に対し、関係機関と連携して指導・助言・情報提供を行っていく。</p> <p>また、新たな在来作物として認定された「越沢三角そば」の作付面積の拡大や販路拡大など、生産組織の活動を支援していく。</p>

<p>具体的な展開方策</p>	<p>振興策</p>	<p>具体的な取り組みと成果</p>	<p>今後の取り組み</p>
<p>⑤地域特産品の活用と育成</p>	<p>(ア) 温海地域特産物の販売PRの強化</p>	<p>(焼畑温海かぶ) 販売促進ツールを利用したPR活動を実施した。地域内の認知度は高くなっている。また、JAで取引されている焼畑温海かぶは、若干ではあるが、販売単価の上昇につながっている。 (しな織) 平成27年3月にしな織のPRと新製品の求評を兼ねた「しな織新製品展示会」を都内で開催した他、しな織の認知度を高めるため、首都圏を中心に展示会を開催した。展示会では、しな織や地域の情報発信ができた。回数を重ねることが期待される。 また、平成27年10月には、ミラノ万博に「食関連産業」として出展し、日本の伝統的工芸品たる古代布の魅力を世界に発信した。</p>	<p>(焼畑温海かぶ) 焼畑あつまかぶと他産地との差別化、認知度を高めるためのPR活動、地理的表示保護制度(GI制度)登録に向けた取り組みを支援する。 (しな織) 協議会が実施する需要開拓事業に対し財政支援及び人的支援の継続、並びに「しな織の歴史や特性」、「製品が発信したい機能」を消費者に伝えつつ、しな織産業に携わる人材を増やす取り組みを展開する。</p>
<p>(イ) 特産品の生産技法や品質維持・継承するための後継者育成</p>	<p>(焼畑温海かぶ) 平成26年度にロゴ・マークの作成・商法登録、栽培基準を作成、平成28年度はブランド講習会を開催した。商標登録により、他産地と差別化を諮れる仕組みが整った。また、栽培講習会は、品質の維持につながっている。 (しな織) 羽越しな布振興協議会が、振興計画に基づき実施する後継者育成事業等に対し、財政支援や事務支援を行った。後継者確保及び育成を図るため、「織」及び「製品加工」の長期研修や技術研修を実施した。長期研修制度は、研修生が意欲・向上心をもって励んでおり、現在の研修生は15期生である。</p>	<p>(焼畑温海かぶ) 品質管理の維持や販路拡大、他産地の赤かぶと混合されない流通方法等の検討を行い、協議会でのブランド化計画の策定を目指す。各種講習会については、若手農業者への働きかけを強化する。 (しな織) 後継者を産地周辺にも拡げていく方向に修正するとともに、長期研修・技術研修の継続、しな織に携わる人材の増などを目指し、協議会への財政支援及び人的支援を継続する。</p>	

交流を核にした地域振興

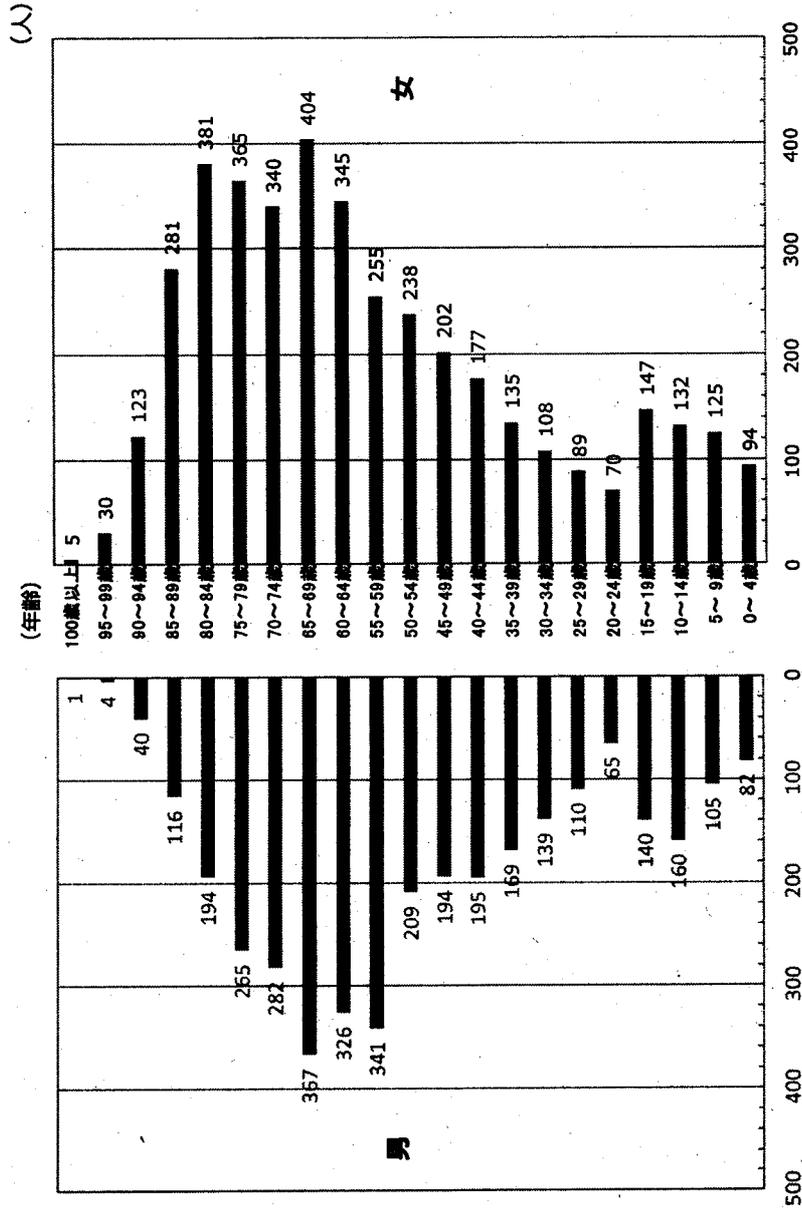
	<p>具体的な展開方策</p>	<p>振興策</p>	<p>具体的な取り組みと成果</p>	<p>今後の取り組み</p>
<p>交流を核にした地域振興</p>	<p>⑤地域特産品の活用と育成</p>	<p>(ウ) しの花を活用したお茶、化粧品などの研究開発</p>	<p>平成26年5月に「しの花活用プロジェクト研究会」を設立し、産官学連携による取り組みを開始した。「化粧水」「ハーブ石鹸」を軸に事業を展開しているが、「お茶」については、限られた原料であることから、当面保留することにした。東京銀座並木通りでの「しの木(花)展示PR」を実施し、首都圏での販売戦略活動の第一歩を踏み出した。また、「化粧水」「ハーブ石鹸」の使い心地を試していた。ただ、モニター調査を実施中である。</p>	<p>平成30年度からの事業化を見据え、事業化体制の確立を図る。併せて、各種試験分析を継続し、データ蓄積を図る。さらには、販売戦略の一環として、東京銀座並木通りとの繋がりを継続し、首都圏の情報発信の足掛かりとしていくとも、パッケージデザインの構築や販売許可の手続きを進める。</p>

温海地域 年齢(5歳階級)別人口 (平成27年 国勢調査)

資料No.5

区分	男	女	計	比率
0~4歳	82	94	176	9.2
5~9歳	105	125	230	
10~14歳	160	132	292	48.4
15~19歳	140	147	287	
20~24歳	65	70	135	
25~29歳	110	89	199	
30~34歳	139	108	247	
35~39歳	169	135	304	
40~44歳	195	177	372	
45~49歳	194	202	396	
50~54歳	209	238	447	
55~59歳	341	255	596	
60~64歳	326	345	671	42.4
65~69歳	367	404	771	
70~74歳	282	340	622	
75~79歳	265	365	630	
80~84歳	194	381	575	
85~89歳	116	281	397	
90~94歳	40	123	163	
95~99歳	4	30	34	
100歳以上	1	5	6	
計	3,504	4,046	7,550	

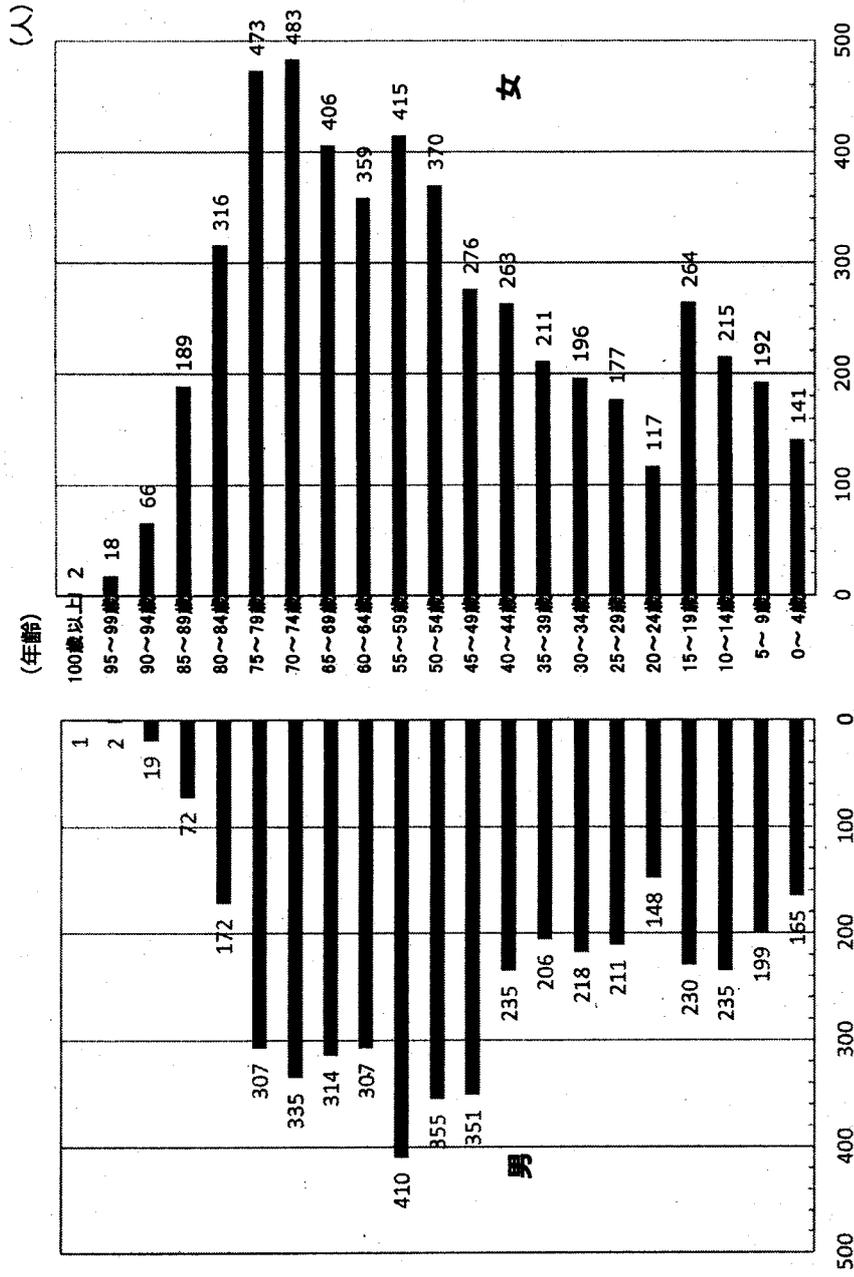
(単位:人、%)



温海地域 年齢(5歳階級)別人口 (平成17年 国勢調査)

区分	計		比率
	男	女	
0～4歳	165	141	11.9
5～9歳	199	192	
10～14歳	235	215	55.2
15～19歳	230	264	
20～24歳	148	117	32.9
25～29歳	211	177	
30～34歳	218	196	11.9
35～39歳	206	211	
40～44歳	235	263	55.2
45～49歳	351	276	
50～54歳	355	370	32.9
55～59歳	410	415	
60～64歳	307	359	11.9
65～69歳	314	406	
70～74歳	335	483	55.2
75～79歳	307	473	
80～84歳	172	316	32.9
85～89歳	72	189	
90～94歳	19	66	11.9
95～99歳	2	18	
100歳以上	1	2	
計	4492	5149	9,641

(単位:人、%)



全市及び温海地域の年齢階級別人口比較（同一年齢層単純比較）

（平成17年、27年国勢調査）

増減率(H17⇒27)

年齢	全市(男)	全市(女)	温海(男)	温海(女)
0～4	-25.66%	-17.35%	-50.30%	-33.33%
5～9	-22.78%	-22.05%	-47.24%	-34.90%
10～14	-19.88%	-24.42%	-31.91%	-38.60%
15～19	-17.23%	-20.19%	-39.13%	-44.32%
20～24	-24.50%	-29.78%	-56.08%	-40.17%
25～29	-29.44%	-27.84%	-47.87%	-49.72%
30～34	-24.50%	-25.88%	-36.24%	-44.90%
35～39	-0.11%	-10.31%	-17.98%	-36.02%
40～44	0.76%	-5.79%	-17.02%	-32.70%
45～49	-20.49%	-18.35%	-44.73%	-26.81%
50～54	-26.82%	-21.69%	-41.13%	-35.68%
55～59	-18.65%	-15.66%	-16.83%	-38.55%
60～64	28.13%	9.52%	6.19%	-3.90%
65～69	25.90%	0.75%	16.88%	-0.49%
70～74	-13.98%	-17.12%	-15.82%	-29.61%
75～79	-7.01%	-8.56%	-13.68%	-22.83%
80～84	46.36%	21.20%	12.79%	20.57%
85～89	66.22%	65.99%	61.11%	48.68%
90～94	72.18%	71.28%	110.53%	86.36%
95～99	123.08%	99.53%	100.00%	66.67%
100～	100.00%	155.56%	0.00%	150.00%

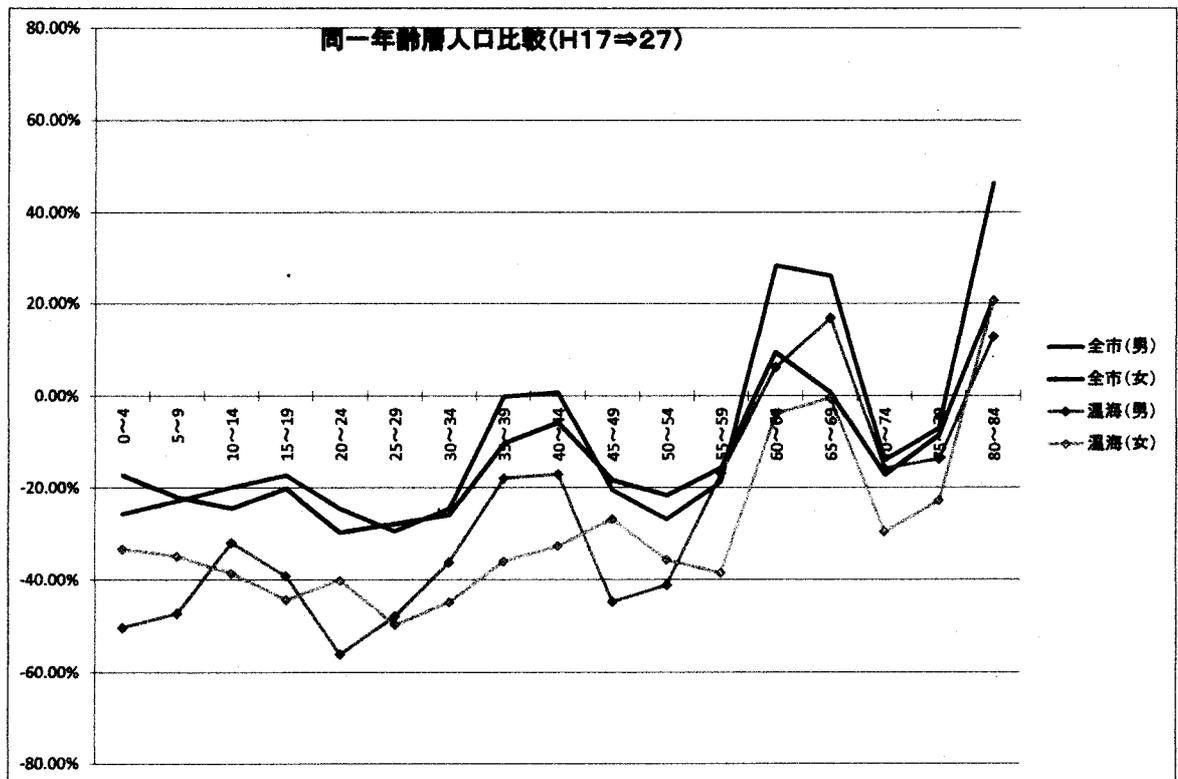
【グラフの見方】

平成17年と平成27年の同一年齢層の単純比較を表したグラフ。

【コメント】

平成27年に「60～69歳」の人口、いわゆる団塊の世代といわれる年齢層は、全市、温海地域とも、平成17年の同一年齢層よりも多い。

80歳以上の人口は、平成17年よりも平成27年の方が多く、平均寿命が延びていると思われる。



全市及び温海地域の年齢階級別人口増減率（10歳経過後の比較）
（平成17年、27年国勢調査）

増減率(H17+10⇒27)

年齢	全市(男)	全市(女)	温海(男)	温海(女)
0～4				
5～9				
10～14	-1.07%	-1.59%	-3.03%	-6.38%
15～19	-2.66%	-16.53%	-29.65%	-23.44%
20～24	-39.35%	-44.73%	-72.34%	-67.44%
25～29	-33.54%	-23.69%	-52.17%	-66.29%
30～34	5.25%	10.00%	-6.08%	-7.69%
35～39	0.34%	-2.21%	-19.91%	-23.73%
40～44	-0.46%	-4.24%	-10.55%	-9.69%
45～49	-2.71%	-1.95%	-5.83%	-4.27%
50～54	-1.81%	-2.55%	-11.06%	-9.51%
55～59	-3.11%	-1.61%	-2.85%	-7.61%
60～64	-4.12%	-2.32%	-8.17%	-8.76%
65～69	-8.12%	-3.29%	-10.49%	-2.65%
70～74	-11.07%	-5.00%	-8.14%	-5.29%
75～79	-20.34%	-9.69%	-15.61%	-10.10%
80～84	-35.73%	-17.56%	-42.09%	-21.12%
85～89	-56.71%	-33.48%	-62.21%	-40.59%
90～94	-73.79%	-56.40%	-76.74%	-61.08%
95～99	-90.37%	-79.47%	-94.44%	-84.13%
100～	-95.77%	-92.66%	-94.74%	-92.42%

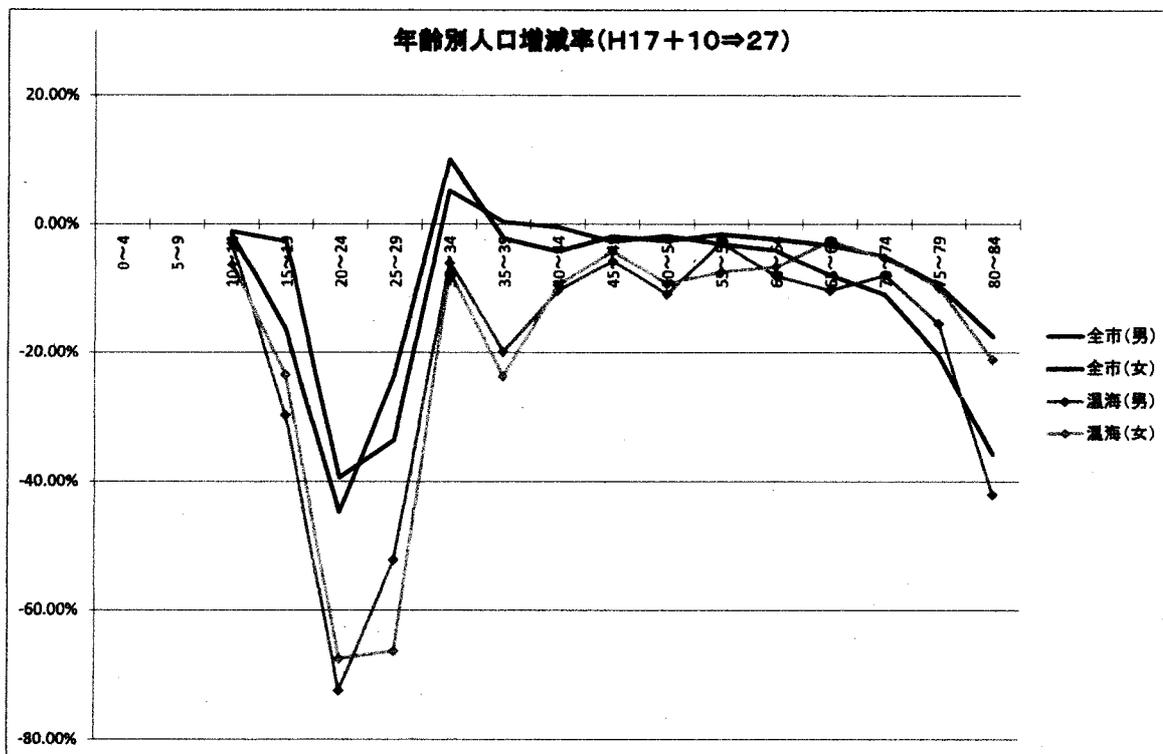
【グラフの見方】

平成17年の「10～14歳」に区分されていた人口が、10年経過後（20～24歳）にどう変化したかを表したグラフ。

【コメント】

平成17年に「20～24歳」の人口と、平成27年に「30～34歳」の人口を比較すると、全市ではプラスになっている。

温海地域は、どの年齢階層においてもマイナスとなっている。



これからの10年で温海地域の活性化に重視したい 着眼点(例示)

① あつみ温泉の振興

【施策の方向性の例】

- (1)温泉街のみならず他地域や他産業と連携した施策の展開
- (2)歩いて楽しい温泉街を具体化する環境整備
- (3)増加する外国人観光客に対するおもてなし

【具体的な施策の例】

- (1)庄内で唯一の「ばら園」の再生
- (2)朝市広場の賑わいづくり
- (3)空き店舗貸出制度の創設
- (4)温泉街桜の植樹(更新)
- (5)Web環境の充実とキャッシュレス環境の整備

【評価指標の例】

- (1)定点調査しているあつみ温泉入込客数

② 交流を核にした地域振興

【施策の方向性の例】

- (1)体験型・滞在型旅行や教育旅行の誘致拡大に向けた体制整備
- (2)交流拠点施設の環境整備と機能の充実

【具体的な施策の例】

- (1)地域おこし協力隊の受け入れ
- (2)伝統産業を活用したイベントの開催
- (3)交流拠点施設のリニューアル

【評価指標の例】

- (1)体験旅行等受け入れ人数、参加人数

③ 日沿道全線開通及び地域特性を活かした地域振興

【施策の方向性の例】

- (1)新道の駅(仮称)を活用した農林漁業の活性化

- (2)新たな立ち寄り素材の磨き上げ
- (3)在来作物など食をキーワードにした農業振興
- (4)循環型農林業の推進

【具体的な施策の例】

- (1)小ロット農産物等集荷システムの整備
- (2)恋する灯台を活用した集客イベントの実施
- (3)焼畑温海かぶや越沢三角そばの生産拡大支援
- (4)焼畑温海かぶ栽培・再造林モデル事業
- (5)林道念珠関線の開設

【評価指標の例】

- (1)農産物等集荷数の実績

④ 若者・子育て世代が活躍できる地域社会の構築

【施策の方向性の例】

- (1)地域特性が不利にならないような環境整備
- (2)子育て世代が地域に定住できる環境整備
- (3)若者の結婚に対する意識改革
- (4)若者がチャレンジできる環境の創出

【具体的な施策の例】

- (1)遠距離通学高校生に対する支援制度
- (2)延長保育の拡大
- (3)病児保育、日曜・祝日保育の体制と環境整備
- (4)保育士移住定住奨励施策
- (5)きめ細やかな保育体制構築支援
- (6)男性のスキルアップ研修の実施
- (7)空家を活用した企業誘致（IT関連産業等）

【評価指標の例】

- (1)国勢調査又は住民基本台帳における人口

⑤ 超高齢化社会を見据えた住みよい地域社会の構築

【施策の方向性】

- (1) 高齢者が活躍できる場の創出
- (2) 温海地域出身者がUターンしやすい環境整備
- (3) 高齢者の移動手段の確保

【具体的な施策の例】

- (1) 集落ヘルパー制度の創設（集落訪問と自治会等事務支援）
- (2) コミュニティ交通の実証試験と制度化の検討
- (3) 新たな情報伝達手段の検討と構築

【評価指標の例】

- (1) 国勢調査又は住民基本台帳における人口

⑥ 持続可能な地域環境と郷土愛を育む地域環境の構築

【施策の方向性】

- (1) 郷土愛を育む社会教育活動の充実
- (2) 持続可能な自治会活動の構築

【具体的な施策の例】

- (1) 集落活動における世代間交流活動を活発化支援
- (2) 自然エネルギーを活用したコミュニティ施設等の経費抑制支援

【評価指標の例】

- (1) 国勢調査又は住民基本台帳における人口

...

この資料は、事前に担当課と調整したものではなく、庁舎内プロジェクト会議や鶴岡まちづくり塾温海グループなど若手の市民との意見交換の内容を整理し例示したものです。

今後、地域振興懇談会や市民・団体の意見を聴取し、担当課とも調整を図ったうえで計画案として再整理するものです。

(参考)

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点

○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備

[文化や伝統など確立されたものを大切にしつつ、新しいことに挑戦ができる環境、人を惹きつけ投資を呼び込める環境が発展につながる]

○人づくりによる人材の確保

[郷土愛を育てることで定着を図りながら、魅力ある教育の実践がより多くの人材の確保につながる]

○交流人口を増やす施策の実施

[様々な人の受入れを進めるとともに、あらゆる施策で市民の満足を高め、他所にいかなくて暮らす生活を実現すること、交流人口を増やすことが人口減少社会の対応につながる]

○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築

[若者、子育て世代に選ばれるまちを目指すとともに、高齢者、障害者に優しく、誰もが活躍できる社会の構築が地域の発展につながる]

○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化を伝承

[精神的な豊かさの実現を見直し、特有の自然、文化、歴史を大切にすることが地域の価値を高め、発展につながる]

○「循環」をキーワードとして重視

[人やエネルギーなどの循環はもちろん、あらゆる施策で循環を意識することで円滑な社会の発展につながる]

○対応から本格的国際都市へのシフト

[地方都市においてはグローバル化、国際化への対応にとどまらず、より本格的な国際化に踏み込むことが創造的な社会づくりにつながる]

○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現

[コンパクトなまちづくりを進め中心市街地の空洞化の防止をはかるとともに地域の個性を活かすためネットワークの構築をはかることが自立分散型のまちづくりにつながる]

○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施

[個性を重視し、質の高い未来志向のプロジェクトを実施することが具体的で市民にわかりやすい計画づくりにつながる]